

～今 障がい者雇用を考えている皆様のための7千情報誌～

# イマ・カラー

【第8号】  
平成26年10月24日発行

## 障がい者を雇用する企業訪問⑦

コープさっぽろえべつ店  
に行ってきました！

### 【会社概要】

- 社名 生活協同組合コープさっぽろえべつ店
- 所在地 江別市元江別779番地の1
- 設立 2005年10月（平成17年10月）
- 従業員数 100名（平成26年8月現在）
- 営業種目 小売業



## 未来の労働環境を見据えて

生活協同組合コープさっぽろは、積極的に障がいのある方の雇用を進めている企業です。コープさっぽろえべつ店の伊藤芳昭店長と同店で働く知的障がいのある高畑さんにお話を伺いました。

高畑さんは、高等養護学校を卒業後、同店に勤め始め約2年半がたちます。高等養護学校では1年生の時から毎年、将来どのような仕事や作業が自分に向いているのかを知るために現場実習を行います。高畑さんも3年生の時、実習で同店に勤務しました。その時の評価がとても高かったことから、卒業後すぐに同店で働き始めました。

本来は9時から6時間の勤務ですが、取材させていただいた夏場は開店時間が早まるため、高畑さんも朝7時前には出勤して仕事を始めていました。「大変ですね。」とお声掛けすると、「店長さんや職場のリーダーの人はもっと早くから働いているから。」と、職場の方を気遣っていました。

高畑さんの受け持ちは冷凍食品売り場。常時売り場を確認し、在庫が少なくなっている時は発注業務も行います。フロアに出ている時は、お客さんの質問にも答えるなど幅広い対応ができ、心づよい仕事ぶりです。

コープさっぽろでは、現在会社全体で180名の障がい者を雇用しており、障がい者雇用率を現在の**2.6%から2年後には4%**にする目標です。「**今後人口が減少する中で、働くことのできる障がい者はたくさんおり、戦力として雇用していく。**」のが会社の方針だそうです。

障がいのある方が一緒に働くのが当たり前なコープさっぽろ。「真面目にきっちり、粘り強く仕事をする」のが高畑さんの長所だと話す伊藤店長さんですが、「障がいのある方に長く勤めてもらうには、ご本人が悩みなどを話しやすく、それを企業に橋渡しをする役割の専門職の方がいるといいですね。」とおっしゃっていました。

障がい者雇用をしたけれどどう対応していいのかわからない、これから障がい者雇用を考えたいけれどどうしていいのかわからない…などお困りのことがありましたら、どうぞ、下記までご相談ください。



冷凍食品の在庫を確認中の高畑さん。売れ筋の商品を切らずわけにはいきません！

### コラム 高等養護学校の誘致活動

北海道札幌盲学校（江別市大麻元町154番地の1）が平成27年3月で札幌市に移転することが決まっています。江別市では、その跡地に特別支援学校高等部（高等養護学校）を誘致すべく、市内関係団体等の協力の下、地域全体で誘致活動に取り組んでいます。

※掲載希望又は内容についてのお問い合わせは、下記までご連絡願います。

#### ●障がい者の就労支援を検討する

江別市自立支援協議会就労支援部会

『イマ・カラー』発行事務局

江別市役所健康福祉部福祉課障がい福祉係  
〒067-8674 江別市高砂町6

☎011-381-1031

『イマ・カラー』には、「今から始める」、「今 現在の自分の色」という二つの意味が込められています。

～今 障がい者雇用を考えている皆様のための7千情報誌～

# イマ・カラー

【第8号】  
平成26年10月24日発行

## 障がい者を雇用する企業訪問⑦

コープさっぽろえべつ店  
に行ってきました！

### 【会社概要】

- 社名 生活協同組合コープさっぽろえべつ店
- 所在地 江別市元江別779番地の1
- 設立 2005年10月（平成17年10月）
- 従業員数 100名（平成26年8月現在）
- 営業種目 小売業



## 未来の労働環境を見据えて

生活協同組合コープさっぽろは、積極的に障がいのある方の雇用を進めている企業です。コープさっぽろえべつ店の伊藤芳昭店長と同店で働く知的障がいのある高畑さんにお話を伺いました。

高畑さんは、高等養護学校を卒業後、同店に勤め始め約2年半がたちます。高等養護学校では1年生の時から毎年、将来どのような仕事や作業が自分に向いているのかを知るために現場実習を行います。高畑さんも3年生の時、実習で同店に勤務しました。その時の評価がとても高かったことから、卒業後すぐに同店で働き始めました。

本来は9時から6時間の勤務ですが、取材させていただいた夏場は開店時間が早まるため、高畑さんも朝7時前には出勤して仕事を始めていました。「大変ですね。」とお声掛けすると、「店長さんや職場のリーダーの人はもっと早くから働いているから。」と、職場の方を気遣っていました。

高畑さんの受け持ちは冷凍食品売り場。常時売り場を確認し、在庫が少なくなっている時は発注業務も行います。フロアに出ている時は、お客さんの質問にも答えるなど幅広い対応ができ、心づよい仕事ぶりです。

コープさっぽろでは、現在会社全体で180名の障がい者を雇用しており、障がい者雇用率を現在の**2.6%から2年後には4%**にする目標です。「**今後人口が減少する中で、働くことのできる障がい者はたくさんおり、戦力として雇用していく。**」のが会社の方針だそうです。

障がいのある方が一緒に働くのが当たり前なコープさっぽろ。「真面目にきっちり、粘り強く仕事をする」のが高畑さんの長所だと話す伊藤店長さんですが、「障がいのある方に長く勤めてもらうには、ご本人が悩みなどを話しやすく、それを企業に橋渡しをする役割の専門職の方がいるといいですね。」とおっしゃっていました。

障がい者雇用をしたけれどどう対応していいのかわからない、これから障がい者雇用を考えたいけれどどうしていいのかわからない…などお困りのことがありましたら、どうぞ、下記までご相談ください。



冷凍食品の在庫を確認中の高畑さん。売れ筋の商品を切らすわけにはいきません！

### コラム 高等養護学校の誘致活動

北海道札幌盲学校（江別市大麻元町154番地の1）が平成27年3月で札幌市に移転することが決まっています。江別市では、その跡地に特別支援学校高等部（高等養護学校）を誘致すべく、市内関係団体等の協力の下、地域全体で誘致活動に取り組んでいます。

※掲載希望又は内容についてのお問い合わせは、下記までご連絡願います。

### ●障がい者の就労支援を検討する

江別市自立支援協議会就労支援部会

『イマ・カラー』発行事務局

江別市役所健康福祉部福祉課障がい福祉係  
〒067-8674 江別市高砂町6

☎011-381-1031

『イマ・カラー』には、「今から始める」、「今 現在の自分の色」という二つの意味が込められています。